

東広島市立中黒瀬保育所

**保護者と一緒に取り組んだ段々砂場づくりで
こどもたちの遊びが広がり、保育士の保育環境に対する捉え方が
変わり始めました。**

保育環境づくりのポイント

昨年度から引き続き、砂場作りに着手しました。今回は『匠(保護者)』の仕事に釘付けだった保育士たちも、積極的に話を聞きながら砂場作りに取り組みました。ハード面の物的環境を整えつつも、一番のポイントはソフト面の人的環境【対話】。今後も課題となりますが、保育士同士で、保護者と共に、一緒に悩み、考え、時には雑談しながら取り組むことこそ今後も大切にしていきたいポイントです。

～こどもたちのこの力を育みたい～

大きな丸太に全身を使って上り下りしたり、静かな空間で、言葉だけでなく、心でも友達とのやり取りを楽しんだり、砂場であって砂場でない子どもならではの遊びを存分に楽しんでもらいたい。

- 感じる・気付く力
- うごく力
- 考える力
- やりぬく力
- 人とかかわる力

取組み内容

やさしいぶんこ



中黒瀬保育所の環境づくりはここから始まった。
今や中黒瀬保育所の代名詞

【やさしいぶんこ】

①ここは匠の技。
子ども達も静かに見守ります。
【感じる力】

暖かな木の温もりへ



戸外でも絵をかける様に黒板を作りました。

「触らないでね」と言っても触りたくなるのが人間の性ですね【手形】

番外編
改善の余地がまだ残されている総合遊具下。まずは土を柔らかく。腐葉土70袋ダウン！

②師匠から弟子へ。
ケガをしては元も子もありません。工具の安全な扱い方を指導してもらいます。【人と関わる力】



⑥そして次に日…
まずは飛び跳ねてみる子ども達。
喜び大爆発！



次年度は‘ここ!!’
番外編にもある総合遊具。そしてグラウンド…ではなく園庭。どこの保育所も永遠の課題では？
いよいよ私たち動きます!!

⑤‘砂場かも’完成！
子ども達はどんな反応を見せてくれるか？
ワクワクします。
【考える力】

③大人も主体的に。
一人一人が‘子どもの喜ぶ姿’を想像しながら環境を整えています。
【動く力】



④ハラハラ〜ワクワクハ。
丸太の節を丁寧に削っていきます。安全第一で。
【やり抜く力】



<今回の取組みを通して>
保育環境づくりは、物的環境を整えているように思いますが、子どもを真ん中に置き、保護者と職員（保育者）が一緒になって子どものことを語り合いながら、子どもと共に成長しながら、人的環境をつくっていると感じます。子どもと保護者と保育者と語り合いを大切にさまざまな見方や考え方に気付き、環境の再構成につなげていきたいです。